

阿波木偶箱まわし保存会の活動記録

本会は、1995年4月に発足した「箱廻し『三番叟』『えびす舞』を復活する会」（代表・辻本一英）を前身とする。本会は、徳島県伝統の木偶遣いによる祝福芸「三番叟まわし」「えびすまわし」「大黒まわし」や、道の芸「箱廻し」を伝承し、次世代への継承や史資料の収集と研究、保存活動の推進を目的として、始発した。2001年4月に「阿波木偶箱廻しを復活する会」と改称し、代表は中内正子が就く。2012年12月に「阿波木偶箱まわし保存会」（会長・中内正子）と改称し、現在に至る。会員数は16名。箱まわしサポート倶楽部（130人）。事務局は、徳島市国府町の芝原生活文化研究所内に置き、技術伝承活動は徳島市立むつみ会館分館を主会場として行う。伝承活動は、徳島市国府町芝原と三好郡東みよし町で定期的に開催し、県内各地の小中学校や高等学校等を訪問して行っている。これまでの主な活動経緯は以下の通りである。

- 1988年 徳島県内の無形民俗文化財の聞き取り調査を始める（以後毎年）
- 1989年 第1回むつみ祭開催、無形民俗文化財の紹介を始める（以後毎年開催）（10月31日・徳島市）
- 1992年 芝原の生活文化を教材化する会を結成（2月10日・徳島市）
- 1993年 生活文化講座開講（6月6日・徳島市）
- 1994年 阿波木偶門付け用具の資料収集を始める
- 1995年 「箱廻し『三番叟』『えびす舞』を復活する会」を結成し、現地調査を始める
- 1997年 人形師田村恒夫さん（阿波木偶制作保存会会長）を訪問し、木偶による門付芸等を聞き取る（1月11日・徳島市）
田中金寿さん（木沢人形浄瑠璃振興会）から「えびす舞」の指導を得る（11月・徳島市）
- 1998年 芝原生活文化研究所開設・箱廻しの現地調査研究や公演活動を始める
「三番叟まわし」の伝承者（以下師匠、大正11年生男性、徳島県東みよし町昼間）に弟子入りし、技術を学ぶ（4月5日・徳島県東みよし町）
- 1999年 「三番叟まわし」の師匠の門付に同行し記録する（2月16日（旧正月）徳島県東みよし町、美馬市、三好市）
「三番叟まわし」の師匠から、本格的に技術指導を受け記録する（5月9日～12日・徳島市）
阿波木偶千歳・翁・三番叟を新調し、「三番叟を迎える会」を開催（7月18日・徳島市）
全国社会教育研究大会で「三番叟まわし」を発表（10月14日・鳥取県米子市）
「伝統芸能箱廻し出前します」（NHK徳島）に出演（10月22日・徳島市）
「阿波十郎兵衛まつり」に出演し「三番叟まわし」を実演（以後毎年）（11月14日・徳島市）
- 2000年 「ズームイン朝」（日本テレビ）に出演し「三番叟まわし」と「芝原えびす舞」を実演（1月1日・徳島県名西郡石井町田中家住宅）
西宮神社百太夫祭取材（1月5日・兵庫県西宮市）
「門付け芸の世界」に出演（1月29日・大阪市リパティ大阪）
「三番叟まわしの足跡調査」で愛媛県肱川町を取材（3月29日・愛媛県大洲市）
「箱廻しの足跡調査」で清和文楽を取材（4月1日・熊本県）
「三番叟まわしの足跡調査」で宇佐神宮取材（8月1日・大分県宇佐市）

八幡古表神社の放生会に参加し箱廻しを奉納（8月2日・福岡県吉富町）

「三番叟まわし」による地鎮祭を行う（9月25日・徳島県東みよし町）

全国人形芝居サミット&フェスティバルに出演（10月6日、7日・兵庫県淡路島）

徳島県民文化祭民俗芸能フェスティバルに出演（11月3日・徳島市）

2001年 西宮神社百太夫祭で「三番叟まわし」を奉納（1月5日・兵庫県西宮市）

師匠の「三番叟まわし」の最後の門付けに同行する（1月、2月・徳島県東みよし町、三好市、美馬市、愛媛県新居浜市）

「阿波木偶箱廻しを復活する会」に名称変更

「三番叟まわし」による地鎮祭を行う（3月29日・徳島県三好市）

NHK 金曜時代劇ドラマ「お登勢」に出演（4月6日～）

「三番叟まわしの足跡調査」で伊吹島を取材（4月19日、6月23日・24日、7月22日・香川県観音寺市）

「箱廻しの足跡調査」で大塚人形を取材（7月10日・島根県安来市）

「箱廻しの足跡調査」で円通寺人形芝居を取材（7月12日・鳥取県鳥取市）

東アジア太平洋人形劇フェスティバルに出演（9月1日・香川県）

2002年 西宮神社百太夫祭で実演（1月5日・兵庫県西宮市）（以後毎年）

事代主神社で「えびす舞」を奉納（1月10日・兵庫県東浦町仮屋）

旧正月の門付けを、師匠から受け継ぎ開始する（1月20日～・徳島県東みよし町、三好市、美馬市）

徳島市天狗久資料館開館式で「箱廻し御祝儀三番叟」実演（4月14日・徳島市）

三好町（現東みよし町）ふれあいアリーナみよし完成式典で「三番叟まわし」を実演する（4月21日）

「てれごじ」（NHK 徳島）に出演し、箱廻しを紹介する（6月13日）

「箱廻しの足跡調査」で古要神社と北原人形芝居を取材（10月12日、13日・大分県中津市）

徳島県立文学書道館開館記念式典で「箱廻し御祝儀三番叟」実演（10月26日）

2003年「EZ!TV」（フジテレビ）に出演し、門付け「三番叟まわし」を紹介する（1月2日）

「情報交差点とくしま」（NHK 徳島）に出演し、門付け箱廻しを紹介する（1月27日）

天理参考館所蔵木偶調査（2月26日27日・奈良県天理市）

小豆島の草壁地区を取材（3月11日・香川県小豆島）

瀬戸内海歴史民俗資料館で木偶調査（3月20日・香川県高松市）

人形浄瑠璃資料館取材（3月30日・兵庫県南あわじ市）

広田村に残された三番叟まわし木偶資料を調査する（5月14日・愛媛県砥部町）

愛媛県立歴史民俗博物館で門付け木偶を取材（5月14日・愛媛県宇和市）

「三番叟まわし」の足跡調査（6月1日・徳島県東みよし町昼間）

淡路サービスエリアで「三番叟まわし」「箱廻し」実演（8月12日～15日・兵庫県淡路島）

「箱廻しの足跡調査」で岐阜県の半原人形と恵那文楽を取材（9月27日・岐阜県瑞浪市、中津川市）

「箱廻しの足跡調査」で長野県今田人形他を取材（9月27日28日・長野県飯田市）

- 読賣新聞「人間列島 徳島 I」で「三番叟まわし」の門付けが紹介される（10月13日）
- 2004年 正月元旦の門付けを開始する（1月1日・三好市）
- 「箱廻しこども体験教室」（文化庁・徳島市）を開催し伝承活動を始める（以後毎年・3月7日・徳島市）
- 阿波木偶箱廻しを復活する会の代表が辻本一英から中内正子に交代する（4月1日）
- 高円宮殿下記念地域伝統芸能祭で「三番叟まわし」を実演（10月22日・茨城県水戸市）
- 広田村閉村式で「三番叟まわし」を実演（12月12日・愛媛県砥部町）
- 2005年 ドキュメント「福を届け 福を待つ」（NHK 徳島）で門付けが紹介される（3月18日）
- 「麦熟らし」に参加し「三番叟まわし」「箱廻し」を実演（以後毎年）（5月15日・愛媛県東温市）
- 長浜人形劇フェスティバルに出演（10月1日・滋賀県長浜市）
- 「大阪国際人形フェスティバル2005」に出演（11月3日、4日・大阪市中之島公会堂）
- 箱廻し伝承教室を開催（5カ所・徳島市、吉野川市、三好市、つるぎ町、東みよし町）
- 2006年 徳島新聞賞「文化賞」受賞（6月1日）
- 福岡県人権啓発センターに「三番叟まわし」「箱廻し」道具を展示する（7月1日・福岡県）
- 隼人塚取材（8月4日・鹿児島県）
- 福山市取材（9月6日・広島県）
- 四国放送ラジオ「阿波紳士録」出演（10月31日）
- 「阿波の門付け芸保存会」を特定非営利活動法人として申請する（12月28日）
- VTR『えびす舞に思いをのせて』制作（11月・メディア総合研究所）
- 箱廻し伝承教室を開催（7カ所・徳島市2カ所、阿波市2カ所、美馬市2カ所、那賀町）
- 2007年 「阿波の芸能」（東京都・国立劇場）に出演（1月27日、28日・東京都）
- 「おーいニッポンNHK BS2」に出演し、「三番叟まわし」を紹介する（2月3日・東京都）
- 読売新聞日曜版「夢塾」に本会の取組みが紹介される（3月4日）
- 日本経済新聞に「三番叟まわし」の門付けが紹介される（3月）
- 「箱廻しの足跡調査」で足柄座を取材（3月9日・神奈川県南足柄）
- 第11回伝統人形芝居「2007受け継がれていく 伝統人形芝居」に出演（3月10日、11日・東京都八王子市）
- 「箱廻しの足跡調査」で「追分人形」「左右口（うばぐち）人形」を取材（3月11日、山梨県大月市）
- 「箱廻しの足跡調査」で「住吉座」を取材（4月5日・岡山県真庭市）
- 映画「あかね空」に出演（4月・全国映画館で上映）
- 「三番叟まわしの足跡調査」で「鍛初め」調査（5月6日・徳島県三好市）
- 「浜街道まつり」で実演（5月13日・大阪府泉大津市）
- 武蔵野美術大学民俗資料展「笑うエビス～福神の図像学～」にて資料展示及び実演（8月4日～9月22日・東京都）
- 徳島県公式訪問団としてドイツ・ニーダザクセン州を訪問し実演（9月13日～17日・ドイツ）
- 第22回国民文化祭（徳島開催）オープニングで「三番叟まわし」の門付けを再現（10月・徳島）

市)

徳島県立文書館特別企画展「福を運んだ木偶たち～阿波木偶「三番叟まわし」「えびすまわし」～」を共催(10月31日～11月11日・徳島市)

日本民俗音楽学会で全国の研究者に箱廻しを紹介(11月18日・徳島市)

「門付け芸の世界とじんけん」(徳島県人権啓発事業)に出演(11月10日・徳島市)

箱廻し伝承教室を開催(6カ所・徳島市2カ所、鳴門市、吉野川市2カ所、東みよし町)

2008年 「箱廻しの足跡調査」で「楾初め」を取材(1月2日・徳島県三好市)

「箱廻しの足跡調査」で東みよし町の「三好町文化人形座」を取材・一括購入(芝原生活文化研究所・資料室所蔵)(3月18日)

小野さくらの舞台(農村舞台)で実演(4月6日・徳島県神山町)

韓国江陵端午祭取材(6月5日～8日・韓国・江陵市)

韓国の人形劇フェスティバルで実演(韓国・アラリ人形劇博物館、チョンソン文芸会館など、7月25日、26日)

韓国の「アラリ人形の家」に阿波木偶を貸し出し展示

飯田人形劇フェスティバル(30周年記念)に出演(8月6日～8日・長野県飯田市)

古要社のくぐつと、宇佐神社の放生会を取材(10月12日・大分県中津市・宇佐市)

「INAKA 博覧会」で実演(以後毎年)(10月4日、5日・徳島市)

「じんけんを楽しむ・太鼓と猿と雑芸と」(徳島県人権啓発事業)に出演(10月25日・徳島市)

三加茂中学校の三番叟まわしに関する公開授業に参加(11月7日・徳島県東みよし町)

箱廻し伝承教室を開催(7カ所・徳島市、三好市、藍住町、神山町、美波町、東みよし町2カ所)

2009年 徳島新聞正月版に2面に渡り門付けや取組みが紹介される(1月1日)

ユネスコ・アジア文化センターの「第2回 ACCU 賞」を受賞(3月)

パリの世界文化会館に招かれ「三番叟まわし」などを実演(4月6日・フランス)

本会が所蔵する門付け用具が「国の登録有形民俗文化財」として登録される(3月11日・文化庁)

徳島城博物館で企画展「阿波の木偶門付け芸」が開催され、展示と実演を行う(6月27日～7月12日・徳島市)

東新町アーケードで阿波踊りと競演する(8月12日・徳島市)

「伝統人形は今」に出演(9月12日、13日・東京都、プーク人形劇場)

「西宮まつり海上渡御祭」を取材(9月23日・兵庫県西宮市)

「阿波路に風が吹くパートⅢ～じんけんを楽しむ～」(徳島県人権啓発事業)に出演(10月24日・徳島県北島町)

「NHK 連続テレビ小説 ウェルかめ」のイベントに出演(10月31日・大阪市)

ユネスコ・アジア文化センター「ACCU 賞ワークショップ」と授賞式で実演(11月15日・徳島市)

本会会長中内正子が阿波文化創造賞を受賞(11月17日)

箱廻し伝承教室を開催(5カ所・徳島市、鳴門市、吉野川市、美馬市、三好市)

2010年 徳島新聞で門付けの様子が紹介される(1月3日)

阿南市加茂谷地区で60年ぶりに「三番叟まわし」の再現の取り組みを始める(1月8日・徳島県阿南市)

あわ民俗芸能フォーラムに出演（徳島県教育委員会主催）（2月7日・徳島市）
「おはようとくしま」（四国放送）で門付けの様子が紹介される（1月20日）
「ニッポン人脈記 差別を超えて③」（朝日新聞）に掲載される（1月21日）
「近江路に風光なむ」に出演（2月11日・滋賀県草津市）
「ピックアップヒューマン」（NHK 徳島）に顧問の辻本一英が出演し「三番叟まわし」を紹介（3月5日）

阿波木偶箱廻しを復活する会の十五周年を祝う会を開催（4月24日・徳島市）
オリエント博物館で公演（5月12日～15日・ポルトガル・リスボン市）
韓国人形劇フェスティバルに招かれ実演（6月・韓国・江陵市）
ユネスコ世界文化遺産「韓国の江陵端午祭」に招かれ実演（6月・韓国・江陵市）
箱廻し伝承教室を開催（10カ所・徳島市5カ所、小松島市、阿南市、吉野川市、つるぎ町、東みよし町）

2011年 NHK『ゆく年くる年』で、正月の「三番叟まわし」が紹介される（1月1日・徳島県三好市）
徳島県から委託を受け、「阿波木偶箱廻し」調査・伝承推進実行委員会を立ち上げ、徳島県における「三番叟まわし」「えびすまわし」の調査

活動と資料収集を行う

一人操り伝統人形大芝居に出演（3月12日、13日・徳島市）
韓国の寧越郡・平昌郡・旌善郡・江陵市の公立学校で公演（4月26日～29日・韓国）
アメリカ・サギノー市姉妹都市50周年記念式典で実演（5月12日、13日・アメリカ・サギノー市）
人形芝居の実演とボランティア活動を行う（7月7日～11日・福島県、宮城県）
人形芝居の実演とボランティア活動を行う（8月11日、12日・宮城県）
箱廻し伝承教室を開催（8カ所・徳島市、鳴門市、小松島市、吉野川市、美馬市、三好市、板野町、牟岐町）

2012年 一人操り伝統人形大芝居 partⅡに出演（3月3日・徳島市）
平成23年度「阿波木偶箱廻し」調査・伝承推進事業報告会の開催（3月25日・徳島市）
「箱廻しの足跡調査」で大井文楽を取材（6月5日・岐阜県恵那市）
郡上八幡で「三番叟まわし」の門付けを行う（6月7日・岐阜県郡上八幡町）
「箱廻しの足跡調査」で大井文楽を取材（7月11日・岐阜県恵那市）
箱廻しジョイント公演（10月7日・徳島市）
一人操り伝統人形大芝居 partⅢに出演（10月13日・徳島市）
一人操り伝統人形大芝居 partⅣに出演（10月14日・徳島県東みよし町）
全国人形芝居フェスティバル（国民文化祭事業）に出演、資料展示（10月20日、21日・徳島市）
「箱廻しの足跡調査」で泉沢人形を取材（11月16日・群馬県前橋市）
箱廻し伝承教室を開催（10カ所、鳴門市2カ所、阿波市、三好市2カ所、那賀町、美波町、海陽町2カ所、つるぎ町）
「阿波木偶箱まわし保存会」に名称変更（12月25日）

2013年 中国四国農政局主催「語り部交流 in とくしま」で実演（1月31日・美馬市脇町）

平成 24 年度「阿波木偶箱廻し」調査・伝承推進事業報告会の開催（3 月 17 日・徳島市）

「箱廻しの足跡調査」で和歌山県西牟婁郡他を取材（4 月 9 日～10 日）

「箱廻しの足跡調査」で伊吹島を取材（4 月 28 日・香川県観音寺市）

「道行きの芸能・里めぐりの旅」に出演（4 月 12 日～14・兵庫県篠山市）

「箱廻しの足跡調査」で相模人形長谷座と相模人形芝居前鳥座を取材（5 月 22 日・神奈川県）

「箱廻しの足跡調査」で八王子車人形西川古柳座を取材（5 月 23 日・東京都八王子市）

「箱廻しの足跡調査」で嶋人形を取材（5 月 30 日・鳥取県鳥取市）

福島県小野町、金山町、宮城県亘理郡山元町の仮設住宅で被災地激励の実演を行う（6 月 4 日～8 日）

東新町アーケード街で阿波踊り連と競演（8 月 13 日・徳島市）

「箱廻しの足跡調査」で新田人形を取材（8 月 17 日～18 日・鳥取県）

「箱廻しの足跡調査」で今田人形を取材（10 月 7 日・長野県飯田市）

「箱廻しの足跡調査」で国立民俗博物館を訪ねて収蔵木偶調査（10 月 8 日・千葉県佐倉市）

「箱廻しの足跡調査」で横前人形を取材（10 月 9 日・長野県上伊那郡宮田村）

「箱廻しの足跡調査」で横前人形を取材（10 月 9 日・長野県上伊那郡中川村）

法市農村舞台に出演（10 月 13 日・三好郡東みよし町）

平成 24 年度「阿波木偶箱廻し」調査・伝承推進事業報告会と大井文楽里帰り公演の開催（10 月 26 日・徳島市）

一人遣い伝統人形大芝居 part5 に出演（11 月 16 日・石井町）

第 65 回全国人権・同和教育研究大会で実演、資料展示（11 月 23 日、24 日・徳島市）

第 13 回全国人形芝居サミット&フェスティバルに出演（12 月 15 日・兵庫県南あわじ市）

箱廻し伝承教室を開催（10 カ所、阿南市、徳島市 4 カ所、阿波市、東みよし町、美馬市 2 カ所、三好市）

「阿波木偶箱廻し」調査・伝承推進事業平成 24 年度・平成 25 年度報告集より抜粋

阿波木偶箱まわし保存会 会則

第1条 (名称)

この会は、阿波木偶箱まわし保存会と称す。

第2条 (目的)

この会は、徳島県の木偶一人遣いによる「箱まわし」を伝承し、史資料の収集や次世代への技術伝承保存活動を推進することを目的とする。

第3条 (構成)

この会は、会の目的に賛同する個人会員で構成する。

事務局は、芝原生活文化研究所・資料室(徳島市国府町芝原字神楽免 158)に置く。

第4条 (事業)

この会は、この会の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 技術向上に関する事業
2. 調査研究に関する事業
3. 史資料の収集・保存に関する事業
4. 次世代への伝承に関する事業
5. その他、必要と認められる事業

第5条 (役員)

この会に、次の役員を置く。任期は二年とし、再任は妨げない。

会長・1名 副会長・2名 会計・1名 会計監査・2名

第6条 (役員の仕事)

役員の仕事は次の通りとする。

1. 会長は、この会を統括する。
2. 副会長は、会長を補佐し、会長不在の時は仕事を代行する。
3. 会計は、この会の会計業務を行う。
4. 会計監査は、本会の会計事務を監査し、総会に報告する。

第7条 (会議)

1. 総会・役員会は会長が招集し、その議長となる。
2. 総会は年1回以上開き、次の事項について協議し決定する。
 - (1) 事業報告・決算報告
 - (2) 事業計画・予算

- (3) 役員を選出
- (4) 会則の改廃
- (5) その他重要事項

3. 役員会は、会長が招集して開催し、会の運営について必要な事項を協議する。

第8条 (顧問)

- 1. この会に必要と認められる学識者を顧問とすることができる。
- 2. 顧問は会長が委嘱する。

第9条 (会計)

- 1. この会の経費は、会費・寄付金その他をもってあてる。会費は別に定める。
- 2. この会の会計年度は、4月1日から翌年の3月31日とする。

附則

この会則は、2012年12月25日から施行する。

阿波木偶箱まわし保存会会員名簿

顧問	辻本 一英
会長	中内 正子
副会長	南 公代
同	酒井 理恵
会計	辻本 絵蘭
会計監査	野町 孝英
同	森本 喜代貴
会員	大塚 明美
同	亀島 敬司
同	佐古 英仁
同	高橋 千奈美
同	中内 トシミ
同	中野 修次
同	野町 菜々子
同	藤高 春芳
同	横田 麻美
同	横田 繁夫

